

会場の発言に耳を傾ける(奥右から)矢作、  
宮本、白井の3氏—16日、横浜市中区



## 横浜の教育どうなってる？

### 党市議団がシンポ

教育への権力介入や、侵略戦争美化の教科書採択などをテーマに「なんかおかしい? 横浜の教育」シンポジウムが16日、横浜市中区で開催されました。主催は日本共産党横浜市議団。

日本共産党の宮本たけし衆院議員は、安倍政権が「教育再生」の名のもとで教育への介入をねらう動きについて「首長による際限のない支配・介入に道を開くもの。憲法に基づき教育の独立を侵す」と危険性を指摘しました。

### 政権いいなり市政が悪影響

元中学校教員の矢作富男さんが、夜間中学校の統廃合や、正規採用されるべき臨時任用職員がらなど、子どもの教育を支える市民の要望を市政に届けている活動を報告しました。

教育も日本の平和も守り抜くため、一緒に頑張りましょう」と呼びかけました。

元中学校教員の矢作富男さんが、夜間中学校の統廃合や、正規採用されるべき臨時任用職員がらなど、子どもの教育を支える市民の要望を市政に届けている活動を報告しました。

会場から、教員の勤務実態や子どもの教育環境の改善を求める発言が寄せられました。